



のぼりベツクマ牧場 園内マップ

NOBORIBETSU BEARPARK MAP

クッタラ湖
Lake Kuttara

メスは非常に活発で、2本足で立ったり、寝そべったり、ひょうきんなポーズでおやつをおねだりします。

人間がまるで檻の中に入っているような造りになっており、クマ達はその周りを取り囲んでいますので、狙われる獲物になったような体験ができます。

北海道に生息しているエゾリスや、シマリスを飼育展示しています。巣箱に隠れている事もありますが、ぜひ足を運んでみて下さい。

丸太渡りや餌探しなど、ヒグマの優れたバランス感覚や手先の器用さをご覧ください。

ポロチブ（大きな舟）やタマサイ（首飾り）など、アイヌ民族の貴重な生活用具を展示しています。

失われつつあるアイヌの貴重な文化遺産を保存し、有形無形文化財を後世に伝えるため、明治初期の生活様式を再現しています。

生活用具のチセ
(アイヌ生活資料館)
Ainu Museum

ユーカラの里
Ainu Village

第1牧場
(オス)
First Enclosure

ヒトのオリ
Human Cage

第2牧場
(メス)
Second Enclosure

リスの杜
Squirrel Enclosure

クマ山ステージ
(クマのアスレチック)
Bear Athletic

クマのおやつ売り場
Bear Snack Shop

アヒルの競走
Duck Race

オスはメスの約2倍のサイズ。目の前で繰り広げる威嚇行動や、背中をこすってマーキングをする背こすり行動は迫力満点。

首にリボンを巻いたアヒルたちが、ゴール目指して疾走します。1着でゴールするアヒルを見事の中させると、特製オリジナルグッズを進呈します。

山麓駅から山頂まで全長約1260m、高低差約300mを片道約7分で一気に駆け登ります。

ぬいぐるみのような子グマたち。食べたり遊んだり、お昼寝したり。毎日スクスク成長しています。

ユーカラ売店
Ainu Shop

ポンチセ
Pon Chise
(Small House)

ポロチセ
Poro Chise
(Big House)

屋上: クッタラ湖展望台
Lake Kuttara Observatory

2F: ヒグマ博物館
Brown Bear Museum

1F: クマ山カフェ
Bear Mountain Cafe

子グマ牧場
Cub Enclosure

山頂駅
Ropeway Terminal

日本屈指の透明度を誇るクッタラ湖を展望することができます。

世代別の剥製や骨格標本、クマの起源と歴史、ヒグマの習性と生態などの資料を多数展示しています。

コーヒー・スイーツはもちろん、クマの足あとをモチーフにしたカレーや、ホットサンドなどの軽食まで多数取り揃えています。